

事業シート①

【平成20年度】

課コード	000320	作成日	平成21年8月28日
所属名	職員厚生課	作成者	飯田良昭

事業名		戦略性	
職員の健康、安全衛生管理事業			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
職場における職員の安全と健康を確保する。		昭和 48	年
活動内容【イン・プット】			
職場巡視の実施。 衛生委員会の開催。 中央安全衛生委員会の開催 公務上の災害等に対して、補償等を行う。 定期健康診断や特殊健康診断などを実施する。 産業医、嘱託医、保健師による健康相談・保健指導を実施する。			
事業の性格分類	実施根拠(法令、条例等)	新市建設計画事業	ワーキング提案事業
<input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 任意的事業	労働安全衛生法及び関連法令・規則、浜松市職員安全衛生規程		
事業運営方法			
<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等			

平成20年度のコスト【イン・プット】

事業費(千円)		財源(千円)		職員人件費(千円)	
計	102,090	計	102,090	正規職員(人工)	6.35
人件費	0	国庫支出金	0	非常勤職員(人工)	0.0
扶助費	0	県支出金	0	再任用職員(人工)	0.0
物件費	71,564	市債	0	年間経費(千円)	152,890
維持補修費	0	受益者負担金	0	受益者負担率(%)	0.0
補助費等	30,526	その他	0		
その他	0	一般財源	102,090		

定量評価

指標1【アウト・プット】		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
定期健康診断受診率	目標	%	100	100	100	100	100
	実績	%	98	99	99		
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	88,380	147,550	152,890	150,830	150,830

指標2		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%					
	実績	%					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円					

定性評価

事業目的の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視、衛生委員会開催を定期的に行い、職場環境改善や公務災害防止に努めるとともに、所属長等に安全や健康管理等の意識付けを行なっている。また、中央安全衛生委員会を年2回開催し、全庁的な安全衛生の推進を図っている。 ・公務上の災害の補償等を行い、職員の生活の安定と福祉の向上に努めている。 ・定期健康診断、特殊健康診断を実施し、その結果に基づき産業医、嘱託医等による保健指導を行い、職員の健康保持増進に努めている。 ・メンタルヘルスに関する講習会や相談を行うとともに、職場復帰支援プログラムを実施し、職員の心の健康の保持・増進に努めている。

内部評価の結果

(1)必要性		A 終了 B 廃止 C 継続	(理由) 職員が安心して業務に専念できるように、快適な職場環境づくりや職員の健康の保持増進に努める必要がある。
C 継続			
(2)実施主体		A 民間(民営化) B 国、県、広域 C 市	(理由) 法により、職場の安全衛生管理、公務上の災害等に対する補償、各種健康診断の実施などが事業者に義務付けられている。
C 市			
(3)選択と集中		A 拡大(予算) B 現状(予算) C 縮小(予算)	(理由) 政令市移行時と比較すると、全庁的に時間外勤務時間数、公務災害発生件数が減少しているものの、健康診断の有所見者、メンタルヘルス不調の職員が増加傾向にあるため、その対策に力を入れていく必要がある。
A 拡大			
(4)改善		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 一部廃止 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 一部民営化 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input type="checkbox"/> その他改善 <input type="checkbox"/> 現状	(理由) メンタルヘルス対策の一部を専門知識と豊富な経験、ノウハウを持つ民間業者に委託することが可能であるため。
A 改善あり	A 改善あり B 改善なし		
今後の事業展開			
今後の方向性		(理由)	
C 改善	A 拡大 B 現状 C 改善 D 廃止	合併や政令市移行、さらには職種変更等により、職場環境の変化、業務量の増加などが生じたため、職員の健康管理を始めとする安全衛生対策を、事業者である市がこれまで以上にきめ細かく行なう必要がある。	
今後の方向性を実現するための具体的取り組み(何をいつまでにどうするか)			
講習会や各種相談事業、啓発事業を引き続き実施し、所属長を始めとする職員への意識付けを行っていく。 またこれらの事業について、民間委託化が可能かどうか、検討する。 人事担当課との連絡を密にし、メンタル不調者からの診断書提出時に、メンタル不調者の所属長からの情報提供を受け、個々のケースについての要因分析を実施し、メンタル不調者数減少のための事業に反映させていく。			
廃止できない理由(廃止した場合に想定される影響)			
基本的に法定で行っている事業であるため、廃止はできない。			

事業名	
職員の健康、安全衛生管理事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
職員の安全衛生管理	

事業目的	職員の安全を確保し、快適に仕事をする事ができる環境を形成する。						
対象	全職員						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視、衛生委員会開催を毎月実施した。また、中央安全衛生委員会を年2回開催した。 ・公務上の災害の補償等を行った。 						
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視、衛生委員会開催を毎月行うことで職員の健康障害を防止するための対策、公務災害防止対策等が図られた。また、中央安全衛生委員会を年2回開催し、各衛生委員会間の意思統一を図るとともに全庁的な安全衛生の取組みを行うことができた。 ・公務上の災害の補償等を行うことで、職員の生活の安定と福祉の向上につながった。 						
コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	21,923	21,600		131		192	
評価							
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化) <input type="checkbox"/> 国、県、広域 <input checked="" type="checkbox"/> 市						
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算) <input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算) <input type="checkbox"/> 縮小(予算)						
(4)改善	<input type="checkbox"/> 改善あり		改善策				
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託	
			<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> その他改善		
			<input type="checkbox"/> 現状				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
具体的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・職場巡視、衛生委員会の開催を毎月行なう。また、中央安全衛生委員会を年2回開催する。 ・公務上の災害の補償等を行う。 						
廃止できない理由	<p>基本的に法定で行っている事業であるため廃止はできない。</p>						

事業名	
職員の健康、安全衛生管理事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
健康診断及び職員の健康を確保するための事業(保健相談・保健指導)	

事業目的	職員の健康管理及び健康の保持増進
対象	全職員
内容	<p><健診関係></p> <p>①定期健康診断</p> <p>②特別健康診断(VDT作業従事者特別健診、放射線従事者特別健診、有機溶剤作業従事者特別健診、深夜業従事者特別健診、清掃職員特別健診、腰痛健診、婦人科検診、トキソプラズマ抗体反応検査、B型肝炎ワクチン接種、破傷風予防接種)</p> <p><相談・指導事業></p> <p>①嘱託医健康相談 実施回数:24回 利用者数:194人</p> <p>②精密・要受診判定者への受診勧奨及び結果管理</p> <p>③巡回健康相談 実施回数:102回 利用者数:507人</p> <p><講習会></p> <p>実施回数:3回(栄養1回 運動2回) 参加者数:延179人</p>
効果	<p>・各種健康診断を実施することで、職員の健康状態が把握できた。</p> <p>・健診受診後の事後指導・講習会・相談事業を実施することで、職員の健康に関する意識を高めるとともに、健康の保持増進のための行動変容の支援が行えた。</p>

コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	122,653	21,120		71,299		30,234	

評価	
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化) <input type="checkbox"/> 国、県、広域 <input checked="" type="checkbox"/> 市
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算) <input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算) <input type="checkbox"/> 縮小(予算)
(4)改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり 改善策 <input type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民営化 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善 <input type="checkbox"/> 現状
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止
具体的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健診受診勧奨の継続。 ・健診結果において、生活改善の必要が認められる職員に対する相談・研修会の充実。 ・1次健診において精密及び受診の判定があった職員に対する、受診勧奨及び健康管理の充実。

廃止できない理由	労働安全衛生法第66条第1項及び第66条第2・3項に基づき、事業者が実施する法定健康診断であるため。
----------	--

事業名	
職員の健康、安全衛生管理事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
メンタルヘルス対策事業(研修会・相談・職場復帰支援)	

事業目的	職員の心の健康の保持・増進						
対象	全職員						
内容	<講習会の実施> ①管理監督者向けメンタルヘルス講習会 回数:2回 参加者数:178人 ②一般職員向けメンタルヘルス講習会 回数:3回 参加者数:276人 <メンタルヘルス相談> 回数:13回 相談件数:28人 <職場復帰支援プログラム> 対象:精神疾患等による休職中の職員 利用件数:2件						
効果	管理監督者向け講習会は全課の管理監督者を対象に実施し、心の病気に関する基礎知識及び早期発見・早期対応の重要性について理解を深めることが出来た。また一般職員を対象とした講習会は、自律訓練法の実技を取り入れたことで、知識の普及に留まらずより積極的に予防について学ぶ機会となった。 職場復帰支援プログラムは、2名の職員が3ヶ月間のプログラムを利用した。						
コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	8,314	8,080		134		100	
評価							
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化) <input type="checkbox"/> 国、県、広域 <input checked="" type="checkbox"/> 市						
(3)選択と集中	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大(予算) <input type="checkbox"/> 現状(予算) <input type="checkbox"/> 縮小(予算)						
(4)改善	改善策						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり <input type="checkbox"/> 改善なし	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 民営化 <input type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 非常勤化 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善	<input type="checkbox"/> 民間委託		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
具体的取り組み	・メンタルヘルス教育としての講習会の充実。(階層別研修等にあわせて講習会を実施し、受講を義務付ける) ・メンタルヘルス不調者の相談窓口・相談体制の充実。 ・職場復帰支援プログラムの継続。						
廃止できない理由	労働安全衛生法第70条の2第1項に根拠をおく「労働者の心の健康の保持増進のための指針」において、職場のメンタルヘルス対策は事業者の努力義務とされている。						

政策・事業外部評価結果報告シート

事業名	職員の健康、安全衛生管理事業			
所管課名	職員厚生課			
内部評価 (外部評価前)	方向性	理由		
	拡大	合併や政令市移行、さらには職種変更等により、職場環境の変化、業務量の増加などが生じたため、職員の健康管理を始めとする安全衛生対策を、事業者である市がこれまで以上にきめ細かく行なう必要がある。		
外部評価	【採点結果】 4点満点			
	①事業の目的や内容が理解できたか	②事業の達成状況や効果が理解できたか	③内部評価の結果とその理由は妥当か	総合評価(平均)
	3.4	2.6	2.6	2.9
	【主な意見】			
	<ul style="list-style-type: none"> この事業は外部評価ではなく専門家に聞くべき事項ではないか。 メンタルヘルス対策は結果を分類するだけでなく、時間外勤務の量、上司との関係など個別の原因を分析すべき。 			
今後の考え方	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス対策事業の実施にあたっては、これまでも産業医、保健相談嘱託医、研修講師(医師ほか)等の専門家からの意見を参考にし、事業展開を図ってきました。専門家とは異なる視点からの意見も貴重なものであるため、今回、外部評価をお願いしたもので、実際に今後の参考となる意見をいただくことができました。 評価の低かった理由は、法定事業である定期健康診断の受診率を課の評価指標にしたこと自体に対してであり、当日説明したメンタルヘルス対策事業への評価ではありませんでした。現実には受診率は100%に至っていないので、引き続き指標として100%実施を目標としていきます。 メンタル不調者の要因分析が十分ではないという指摘は、課題として認識しています。現在は、本人もしくは所属長から相談を受けたケース以外は、職員厚生課として要因の把握はできていません。今後は、人事担当課との連絡を密にし、メンタル不調者からの診断書提出時に、メンタル不調者の所属長からの情報提供を受け、個々のケースについての要因分析を実施し、メンタル不調者数減少のための事業に反映させていきます。 			